

 2020/10/4(日)9:30-16:50(受付開始 9:00)

第1回がんプロフェッショナル研修会

「免疫チェックポイント阻害薬を使用する患者への pharmaceutical care の実践」

〔講演〕／〔症例検討〕／〔SGD〕症例スモールグループディスカッション

* 終了後、症例サマリーを作成、期日までに提出して頂きます。

* プログラム全てを受講し、課題を提出した受講者にのみ単位認定いたします。

講座情報

免疫チェックポイント阻害薬を使用する患者への pharmaceutical care の実践

「胃がんの病態生理」

高島 淳生

日本において胃がんは、全がん種の中で罹患数は第2位、死亡数は第3位である(2019 年がん統計)。かつて、胃がんは、がんの罹患数/死亡数のトップであったが低下傾向ではある。しかしながら依然、胃がん患者数は多く、日本における代表的ながん種と言える。本講義では、胃癌に関する疫学、発生要因、診断、予防等の病態生理を中心とした胃癌総論を概説する。

「免疫チェックポイント阻害薬の薬効薬理と副作用マネジメント」

葉山 達也

従来の殺細胞性抗がん剤や分子標的治療薬とは異なる作用機序を有する免疫チェックポイント阻害薬は臨床現場において様々な局面で導入されています。従来のような癌腫毎の適応にくわえ臓器横断的な使用も可能となりより多角的な展開が期待されます。一方で免疫関連有害事象(immune-related adverse events:irAE)は多彩に出現し予測が困難な状況も少なくありません。致命的な状況を回避するため irAE に対する対処法や治療法および体系的にマネジメントする体制づくりの必要性を薬剤師の目線でお話できればと思います。

「〔症例検討〕免疫チェックポイント阻害薬を投与されている患者に必要なフォローアップの実践」

小林 一男

胃がん患者における薬物治療と免疫関連有害事象のマネジメントについて症例を通して学びます。免疫関連有害事象は免疫チェックポイント阻害薬開始後 3 カ月以内に発現することが多いですが、治療終了後に発現する事例もあり、外来でのフォローアップが欠かせません。また薬機法等制度が改正されたことに伴い、病院だけでなく保険調剤薬局の役割が増えています。薬剤師に必要なフォローアップとして具体的に何をやるのか？それで患者に貢献できるのか？を考えられる場になりたいと思っています。この機会に、免疫チェックポイント阻害薬を投与されている患者に必要なフォローアップの実践について、皆様と学びを深めたいと思います。

講演者情報

「胃がんの病態生理」

高島 淳生

国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 消化管内科 医長

プロフィール

経歴

2001 年 3 月 滋賀医科大学医学部医学科卒業
2004 年 6 月 国立がんセンター中央病院 内科レジデント
2007 年 4 月 国立がんセンター中央病院 消化管内科がん専門修練医
2008 年 6 月 JCOG 運営事務局 研究支援部門併任
2009 年 4 月 国立がんセンターがん対策情報センター 臨床試験支援部
医学統計室長/JCOG 運営事務局 研究支援部門
2012 年 9 月 国立がん研究センター中央病院 消化管内科 医員
2017 年 9 月 国立がん研究センター中央病院 消化管内科 医長
現在に至る

参考文献/サイト

胃癌治療ガイドライン 医師用 2018 年 1 月改訂 第 5 版 金原出版
新臨床腫瘍学(改訂第 5 版): がん薬物療法専門医のために 南江堂
国立がん研究センターがん情報センター <https://ganjoho.jp/public/cancer/index.html>

「免疫チェックポイント阻害薬の薬効薬理と副作用マネジメント」

葉山 達也

日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 主任

プロフィール

学歴

2002 年 3 月 日本大学薬学部 卒業
2003 年 3 月 日本大学大学院薬学研究科博士前期課程 中退
2011 年 3 月 日本大学大学院薬学研究科博士後期課程 博士(薬学)取得
2011 年 4 月 日本大学薬学部客員研究員
2019 年 3 月 日本大学薬学部客員研究員 任期終了

職歴

2003 年 4 月 日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 入職
2015 年 4 月 日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 主任
現在に至る

資格

日本医療薬学会:がん指導薬剤師、がん専門薬剤師、認定薬剤師
日本病院薬剤師会:がん薬物療法認定薬剤師

所属学会

日本臨床腫瘍学会
日本臨床腫瘍薬学会(筆記試験小委員会 副委員長)

日本がんサポーターブケア学会

日本癌学会

日本癌治療学会

日本医療薬学会

日本薬学会

主要著書

- ・アドヒアランスに着目した 経口抗がん薬 服薬支援マニュアル 南山堂
- ・がん化学療法レジメン管理マニュアル 第3版 医学書院
- ・整理して理解する抗がん薬

[[症例検討]免疫チェックポイント阻害薬を投与されている患者に必要なフォローアップの実践]

小林 一男

公益財団法人がん研究会有明病院 薬剤部

2007 年 共立薬科大学薬学部薬学科 卒業

2009 年 慶應義塾大学大学院薬学研究科医療薬学専攻博士前期課程修了

2009 年 公益財団法人がん研究会有明病院入職

2019 年 公益財団法人がん研究会有明病院薬剤部 病棟チーフ

主要著書

がん免疫療法ガイドライン第2版,編集 日本臨床腫瘍学会,金原出版,2019 年

胃癌治療ガイドライン医師用第5版,編集 日本胃癌学会,金原出版,2018 年

参考サイト

国立がん研究センターがん情報サービス https://ganjoho.jp/public/dia_tre/treatment/immunotherapy/immu02.html